

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 3年 3月 31日

1. 本園の教育目標 ～神様と友達を愛する子ども～

- ① 健康で明るい子ども
- ② 自発的でたくましい子ども
- ③ よく考え、創造的な子ども
- ④ 感謝のできる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標

- ・園内研修の充実を図る 研修報告及び園児の共通理解
- ・M教育の充実 教具の提供方法
- ・合同研修の充実 合同研修を通しての子ども達への理解を深める

3. 項目の達成および取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	専門家としての能力・良識・適性	3	子どもの状態を考慮し立案する
2	組織の一員としての在り方	4	園全体で共通理解を図る 丁寧な視診をする
3	周りを感じ取れるアンテナ・感性	3	自分の仕事に対し責任と自覚を持つ 自分の意見を伝える
4	研修・研究への意欲・態度	3	伝えるべきことは全職員で共有する 信頼関係を構築する
5	遊具・教材に関する専門性の向上	3	園外保育を活用しての各所とのかかわり
6	園内の環境に関する専門性の向上	2	レポート発表の機会が少ない 研修内容の共有化する
7	今日的課題に関する専門性の向上	3	
8	自らを高めるための学習	3	

評価(4…十分に成果があった 3…成果があった 2…少し成果があった 1 成果がなかった)

4. 総合評価結果

評価	理由
3	コロナ禍のため研修会の中止が多く、広く研修を深めることができなかった。その分 zoom などの新しいツールを使って、可能な研修には多く参加でき、園内での意見交換なども行えた。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育の記録と考察	育てたい10の姿を理解し、年間保育計画の見直し
2	評価と反省の反映	記録を踏まえての具体的なかかわりの状況の評価と反省
3	地域社会との交流	地域情報のキャッチと参加 小学校との交流の充実

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ☆ コロナ禍ではあったが行事等工夫して行われた。
- ☆ 連絡網やゆめネットなどのツールが生かされていない。迅速な連絡事項の伝達を！
- ☆ 園児に対しての先生の数が少ないのか目が行き届いていない（喧嘩・ケガ等の場面）
- ☆ なるべく行事は小学校と被らないような配慮をしてほしい。
- ☆ 個人懇談が2回あると先生と話す機会も増え、様子や成長がよくわかる
- ☆ 外部から体育講師を呼んで体育教室を開いてほしい
- ☆ 父母の会の役員は性別にこだわらない選出方法の検討を